

3. 日本骨髓バンク データ利用申請承認研究一覧(2024年12月現在)

※2016年4月までは「データ・試料利用申請」承認研究

	承認日	申請者所属	申請者名 (敬称略)	申請課題名および発表学会等
1	2003/6/6	愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部	赤塚美樹	HLA-E抗原およびマイナー組織適合抗原等のドナーと患者間での不適合が臨床経過に及ぼす影響の検討
2	2003/6/6	東京都赤十字血液センター 技術部研究一課	屋部登志雄	NK細胞受容体KIR遺伝子型及び認識リガンドHLA-C抗原上のKIRエピトープ型のドナーと患者間での不適合が臨床経過におよぼす影響
3	2003/6/6	愛知県がんセンター病院 血液・細胞治療部	森島泰雄	HLA-C抗原およびHLA-B,C型などから推測したNK細胞受容体(KIR等)のドナーと患者間での不適合が臨床経過におよぼす影響の検討
4	2003/6/6	愛知県がんセンター病院 血液・細胞治療部	森島泰雄	GVHD予防法別・HLA型別にHLA適合度が臨床経過に及ぼす影響の検討
5	2003/7/1	東京都赤十字血液センター 技術部研究一課	石川善英	サイトカイン遺伝子、サイトカイン受容体遺伝子(IL1 α ,IL1 β ,IL1R,IL1RA,IL2,IL4,IL4RA,IL6,IL10,IL12,IFN γ ,TNF α ,TGF β)多型の移植成績に及ぼす影響の解析
6	2003/7/1	東京都赤十字血液センター 技術部研究一課	石川善英	マイナー抗原(HA-8)不適合の移植成績への影響の解析
7	2003/8/14	愛知県がんセンター病院 血液・細胞療法部 東海大学医学部基礎医学系 分子生命科学	森島泰雄 猪子英俊	HLA抗原およびマイクロサテライト型のドナーと患者間での不適合が臨床経過におよぼす影響を検討
8	2003/8/14	愛知県がんセンター病院 血液・細胞療法部 東海大学医学部基礎医学系 分子生命科学	森島泰雄 猪子英俊	急性、慢性GVHD重症度別・HLA型別にHLA、およびマイクロサテライト適合度が臨床経過に及ぼす影響につき検討し、マイナー組織適合抗原を検索する
9	2003/10/3	医療委員会	加藤俊一	HLA1抗原不適合ドナーからの移植成績の検証
10	2003/10/7	医療委員会	権藤久司	複数回(2回)提供ドナーからの移植を受けた患者の移植前と移植後経過に関するデータの検証、および、複数回提供か否かに関わらず、移植細胞数と臨床結果の相關の有無についての解析
11	2003/11/11	医療委員会	平岡 誠	認定施設の移植実績調査・解析／TRMday100の平均との有意差の有無の検討
12	2003/12/1	医療委員会	堀部敬三	DLIの有効性および安全性の検討
13	2004/1/26	東京慈恵会医科大学附属病院 輸血部	星 順隆	現在の自己血・骨髓採取量の設定の妥当性の検証
14	2004/3/10	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学 講座分子細胞内科学	村田 誠	患者またはドナーにおけるUGT2B17遺伝子、GSTT1またはGSTM1遺伝子の欠損が造血幹細胞移植後の臨床経過に与える影響に関する検討
15	2004/8/2	東京慈恵会医科大学附属柏病院 血液・腫瘍科	西脇嘉一	肥満を有する患者における至適移植細胞数の検討
16	2004/8/2	東海大学医学部 専門診療学系 小児科学	矢部普正	各疾患に適した幹細胞移植ソースの検討
17	2004/8/2	東京大学 造血再生医療寄付講座	小川誠司	Whole Genome Association解析によるGVHDの原因遺伝子の探索
18	2004/8/2	千葉大学医学部附属病院 第2内科	西村美樹	長期性生存者におけるQOL
19	2004/8/2	東京都立駒込病院 血液内科	坂巻 壽	その他の合併症(感染症、VOD、など)
20	2004/8/2	名古屋第一赤十字病院 内科	宮村耕一	その他の合併症(感染症、VOD、など)
21	2004/8/2	名古屋第一赤十字病院 小児科	加藤剛二	遺伝性疾患
22	2004/8/2	名古屋大学医学部附属病院 小児科	小島勢二	ATGを含む前処置で移植された再生不良性貧血患者の治療成績
23	2004/8/2	愛媛県立中央病院 血液内科	原 雅道	急性GVHD
24	2004/8/2	神奈川県立がんセンター 血液科	丸田亮郎	慢性GVHD
25	2004/8/2	東京大学医学部附属病院 無菌治療部	神田善伸	非血縁者間骨髓移植における移植前処置が治療成績に及ぼす影響
26	2004/8/24	秋田大学医学部附属病院 第三内科	廣川 誠	NK細胞腫瘍に対する非血縁者間骨髓移植の治療成績
27	2004/9/11	東京慈恵会医科大学附属病院 輸血部	星 順隆	非血縁者間で実施されたコーディネートの中止理由およびドナーの有害事象の発現と年齢の関係
28	2004/10/8	東海大学医学部 基礎医学系分子生命科学	猪子英俊	移植後肺合併症と遺伝子多型性に関する研究
29	2004/12/27	ドナー安全委員会	秋山秀樹	2回目の骨髓採取に関する検討
30	2004/12/27	ドナー安全委員会	秋山秀樹	採取骨髓の細胞数が不十分であった場合の採取状況と移植成績の検討
31	2005/1/20	ドナー安全委員会	秋山秀樹	骨髓採取において、培養液として生食を使用した場合の安全性と移植における安全性についての検討
32	2005/9/1	防衛医科大学校 血液内科	木村文彦	血液型不適合が非血縁者間骨髓移植成績に与える影響
33	2005/9/12	長崎大学 原研内科	宮崎泰司	JALSGスコアによって層別化された成人AML患者に対する第一寛解期非血縁者間移植成績の解析
34	2006/1/26	ドナー安全委員会	中尾康夫	骨髓採取後のCPK高値の検討
35	2006/4/12	東京都立駒込病院 血液内科	山下卓也	非血縁者間骨髓同種移植における患者体重が移植成績に及ぼす影響についての後方視的研究

	承認日	申請者所属	申請者名 (敬称略)	申請課題名および発表学会等
36	2006/9/20	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	衛藤徹也	ATLに対する骨髓非破壊的前処置を用いた非血縁ドナーからの同種骨髓移植療法の後方視的検討
37	2006/12/19	東京大学医科学研究所	高橋 聰	非血縁骨髓移植後の急性GVHD発症に与えるNod2遺伝子変異の臨床的意義
38	2006/12/19	関西医科大学大学院医学研究科	蘭田精昭	非血縁骨髓採取の際に骨片などを除去するために使用するフィルターに補足されている細胞の研究利用について一部変更承認(2016/4/19)
39	2007/2/2	東京都立駒込病院 血液内科	山下卓也	非血縁者間同種骨髓移植における二次性悪性腫瘍についての後方視的研究
40	2007/3/3	医療委員会	森慎一郎	非血縁者間ドナーリンパ球輸注の治療成績
41	2007/3/6	愛知県厚生連 昭和病院 血液化学療法科	森下剛久	医療技術評価書に添付するドナーに関する資料
42	2007/3/9	名古屋大学大学院 医学系研究所	小島勢二	後天性再生不良性貧血に対する非血縁者間同種骨髓移植におけるHLAアリルミスマッチの意義
43	2007/3/9	ドナー安全委員会	秋山秀樹	骨髓ドナー確保と安全性
44	2007/5/28	防衛医科大学校 血液内科	木村文彦	非血縁者間骨髓移植におけるG-CSF・M-CSFの効果
45	2007/5/28	ドナー安全委員会	中尾康夫	採取前検診時Hbから規定される骨髓採取量上限の再検討
46	2007/6/20	京都大学大学院 医学研究科	菱澤方勝	成人T細胞白血病・リンパ腫に対する幹細胞ソース別の同種造血幹細胞移植の成績の解析
47	2007/7/9	東京都赤十字血液センター 製剤部	屋部登志雄	造血幹細胞移植における白血球細胞受容体とりガンド遺伝子多型の影響
48	2007/8/8	東海大学 基礎医学系分子生命科学	猪子英俊	造血幹細胞移植における移植後合併症とマイクロサテライトマーカーを用いた疾患関連遺伝子多型の解析
49	2007/9/13	医療委員会	宮村耕一	輸注細胞数と移植成績の関係
50	2007/11/2	愛知県がんセンター中央病院	森島泰雄	国際組織適合性ワークショップにおけるHLAと移植免疫反応との関連についての解析
51	2007/11/18	東京大学医学部付属病院 血液・腫瘍内科	南谷泰仁	スコア化による最適な非血縁造血幹細胞ドナーの選択
52	2007/12/25	ドナー安全委員会	秋山秀樹	移植骨髓液中に含まれる抗凝固剤の現状についての調査
53	2008/1/7	国立がんセンター中央病院 幹細胞移植科	藤 重夫	非血縁者間骨髓移植後における移植前body mass index (BMI)の重要性についての検討
54	2008/1/8	名古屋大学医学部 造血細胞移植情報管理学	熱田由子	成人急性白血病における非血縁者間骨髓移植と非血縁者間臍帯血移植の成績比較
55	2008/1/18	JPLSG CML委員会／慶應義塾大学 小児科	嶋田博之	小児慢性骨髓性白血病(CML)に対する非血縁者間骨髓移植におけるHLA適合度の重要性の検討
56	2008/2/12	名古屋第一赤十字病院 小児科	渡辺修大	当院における非血縁者間骨髓移植でのHLA-ABCwDRDQDPのアリル一致度と移植成績
57	2008/2/18	東京都赤十字血液センター 製剤部	屋部登志雄	造血幹細胞移植におけるNK細胞受容体およびサイトカイン遺伝子多型の影響
58	2008/5/20	京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科	一戸辰夫	非血縁者間骨髓移植後の生着不全にHLA抗体が及ぼす意義に関する研究
59	2008/6/16	金沢大学附属病院	高見昭良	非血縁者間同種骨髓移植治療成績におけるFcガンマレセプターIIIa(CD16)多型の影響
60	2008/8/2	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 血液病科	加藤光次	成人T細胞性白血病・リンパ腫(ATLL)
61	2008/9/9	岡山県赤十字血液センター	石丸文彦	造血幹細胞移植における抗HLA抗体・抗MICA抗体の臨床的意義
62	2008/9/19	北海道大学医学部 血液内科	重松明男	成人リンパ性白血病に対する同種造血幹細胞移植における移植前処置レジメンの検討
63	2008/10/7	りんくう総合医療センター市立泉佐野病院	畠中一生	抗ヒトTリンパ球ウサギ免疫グロブリンを前処置に用いた同種造血幹細胞移植に関する多施設共同後方視的研究
64	2008/10/8	金沢大学附属病院	高見昭良	非血縁者間同種骨髓移植治療成績における免疫関連遺伝子多型の影響
65	2009/1/8	名古屋大学医学部 造血細胞移植情報管理学	熱田由子	同種造血幹細胞移植後の二次性悪性腫瘍
66	2009/1/20	慶應義塾大学医学部 血液内科	森 毅彦	非血縁者間同種骨髓移植後の tacrolimus と短期 methotrexate(MTX) を用いた移植片対宿主病予防: tacrolimus の至適血中濃度の検討
67	2009/3/3	医療委員会	宮村耕一	輸注細胞数と移植成績の関係
68	2009/3/24	名古屋第一赤十字病院 内科	宮村耕一	Recommendation to improve the outcome in adult Philadelphia-negative acute lymphoblastic leukemia
69	2009/3/24	自治医科大学附属さいたま医療センター血液科	神田善伸	急性リンパ性白血病(ALL)の第一寛解(CR1)到達時における臨床決断分析
70	2010/8/24	愛知県がんセンター研究所	松尾恵太郎	非血縁者間造血細胞移植に係わる組織適合性抗原の統合解析と統一データ・試料ベースの構築
71	2010/12/2	愛知県がんセンター 東海大学	森島泰雄 猪子英俊	造血幹細胞移植後合併症の遺伝要因特定のためのHLA全領域の塩基配列決定による遺伝的多型の検出と移植成績との関連性の調査
72	2011/10/6	山口大学医学部 公衆衛生学	田邊 剛	非血縁骨髓移植の予後に与えるインフラマソーム関連遺伝子変異の臨床的意義

	承認日	申請者所属	申請者名 (敬称略)	申請課題名および発表学会等
73	2012/6/14	中四国地区 地区代表協力医師	岩戸康治	骨髓移植推進財団 中国四国地区における非血縁者ドナーからの骨髄採取の現状
74	2012/10/2	金沢大学附属病院	高見昭良	非血縁者間同種骨髓移植における血管内皮・血栓凝固機能関連遺伝子多型の影響
75	2013/8/14	山口大学医学部 公衆衛生学	田邊 剛	非血縁骨髓移植の予後に与える免疫関連遺伝子変異の臨床的意義
76	2013/9/2	名古屋第一赤十字病院 血液内科	清水奈緒子	名古屋第一赤十字病院における骨髓バンクコーディネートの現状 学会発表:第75回日本血液学会学術集会(2013年10月)札幌
77	2013/10/21	(公財)日本骨髓バンク 事務局	折原勝己	骨髓・末梢血幹細胞提供によりドナーの遺伝情報等が判明した場合の情報開示について 学会発表:第36回日本造血細胞移植学会総会(2014年3月)沖縄
78	2013/11/7	東海大学医学部	椎名 隆	骨髓移植前保存ドナー検体を用いたPCR-SSOP法とSS-SBT法によるDNAタイピング検査の比較と検証 学会発表: 第23回日本組織適合性学会大会(2014年9月)長崎 第25回日本組織適合性学会大会(2016年10月)札幌 第26回日本組織適合性学会大会(2017年10月)広島 第27回日本組織適合性学会大会(2018年9月)松本 論文業績 <i>BMC Genomics.</i> 2015;16:318. <i>Front Immunol.</i> 2018;9:2294.
79	2013/11/25	琉球大学医学部 第二内科	友寄毅昭	沖縄県における骨髓移植ドナーの不適格例の解析 ※第36回日本造血細胞移植学会市民公開講座(2014年3月)沖縄
80	2013/12/17	東京都立駒込病院輸血・細胞治療科	奥山美樹	非血縁者間末梢血幹細胞採取の現況 学会発表:第62回日本輸血・細胞治療学会総会(2014年5月)奈良
81	2014/5/16	ドナー安全委員会	折原勝己	非血縁者間骨髓採取術 複数回(2回)提供者に関する採取細胞数及び移植患者の生着率に係る後方視野的データ解析について 学会発表:第37回日本造血細胞移植学会総会(2015年3月)神戸
82	2014/5/21	医療委員会	芦田隆司	日本骨髓バンクを介したドナーリンパ球輸注の成績 一EBVによるBLPDおよび非腫瘍性混合キメラ状態一
83	2014/7/22	大阪市立大学医学部附属病院 血液内科	日野雅之	「本邦における非血縁者間末梢血幹細胞採取と骨髓採取のドナーへの影響に関する観察研究」 平成30年度第2回造血細胞移植合同班会議 厚生労働科学研究費補助金「難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野)」「非血縁者間末梢血幹細胞移植における末梢血幹細胞の効率的提供と至適な利用率増加に繋がる実践的支援体制の整備」(H29-難治等(免)-一般-101) 一部変更承認(2017/2/13, 2020/1/14) 論文発表: <i>Int J Hematol.</i> 2020 Jun;111(6):840-850. (https://doi.org/10.1007/s12185-020-02852-7)
84	2014/7/31	金沢大学附属病院 輸血部	材木義隆	「6LOHIによるHLA欠失白血球の存在が再生不良性貧血患者の同種造血細胞移植の予後に及ぼす影響の検討」 学会発表:第85回日本血液学会学術集会(2023年10月)東京 論文業績: <i>Transplantation and Cellular Therapy</i> (https://doi.org/10.1016/j.jtct.2023.11.013)
85	2014/11/26	東海大学医学部 基礎医学系分子生命科学	椎名 隆	「HLA遺伝子の多型・発現情報と移植成績やGVL効果誘導との関連解釈」 ※第26回日本組織適合性学会シンポジウム(2017年10月)広島 学会発表: 第27回日本組織適合性学会大会(2018年9月)松本 第28回日本組織適合性学会大会(2019年9月)名古屋 論文業績: <i>Front. Immunol.</i> 11:941. (https://doi.org/10.3389/fimmu.2020.00941) 一部変更承認(2017/8/22, 2018/5/23, 2020/1/22, 2022/3/8)
86	2014/12/9	名古屋大学医学部附属病院	鍼塚八千代	「造血幹細胞移植分野におけるドラッグ・ラグ解消のための新薬・未承認薬使用状況の検討」 学会発表:第39回日本造血細胞移植学会総会(2017年3月)島根
87	2015/1/13	豊橋市民病院 血液・腫瘍内科	西脇聰史	「すべての患者が最適な造血幹細胞移植を受けることができる体制整備のための理論的背景の構築」 学会発表: 第40回日本造血細胞移植学会総会(2018年2月)札幌 第41回日本造血細胞移植学会総会(2019年3月)大阪 論文業績: <i>Bone Marrow Transplantation</i> (2020) 55:657-660 一部変更承認(2018/6/21)
88	2015/2/26	名古屋第一赤十字病院 血液内科	川島直実	「同種造血幹細胞移植後ドナー由来造血不全発症に關わる分子機構の解析」 学会発表:第38回日本造血細胞移植学会総会(2016年3月)名古屋
89	2015/3/3	京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学	小川誠司	「分子プロファイリングに基づくMDS移植患者の予後予測モデルの構築」 学会発表: 第78日本血液学会学術集会(2016年10月)横浜 第75回日本癌学会学術集会(2016年10月)横浜 第79日本血液学会学術集会(2017年10月)東京 第76回日本癌学会学術集会(2017年10月)横浜 第78回日本癌学会学術集会(2019年9月)京都 第81回日本血液学会学術集会(2019年10月)東京 第79回日本癌学会学術集会(2020年10月)広島 第82回日本血液学会学術集会(2020年10月)京都 第83回日本血液学会学術集会(2021年9月)仙台 第82回日本癌学会学術集会(2023年9月)横浜 第85回日本血液学会学術集会(2023年10月)東京 第86回日本血液学会学術集会(2024年10月)京都 第83回日本癌学会学術集会(2024年9月)福岡 21st EHA Congress (2016/6/9-12) Copenhagen 26th ESH Meeting (2016/6/10-13) Paris 58th ASH Annual Meeting and Exposition (2016/12/3-6) San Diego The Nordic MDS Group (NMDSG) meeting 2017 autumn (2017/11/9-10) Stockholm 60th ASH Annual Meeting and Exposition (2018/12/1-4) San Diego 24th EHA Congress (2019/6/13-16) Amsterdam 61st ASH Annual Meeting and Exposition (2019/12/7-10) Orlando 25th EHA Annual Congress (2020/6/11-14) Frankfurt(virtual) 63rd ASH Annual Meeting and Exposition (2021/12/11-14) Atlanta 17th International Congress on Myelodysplastic syndromes(2023/5/3-6) Marseille 65th ASH Annual Meeting and Exposition (2023/12/9-12) San Diego 29th EHA2024 Hybrid Congress (2024/6/13-16) Madrid 論文業績 <i>Blood.</i> 2017;129(17):2347-2358. <i>Leukemia</i> (2024). (https://doi.org/10.1038/s41375-024-02494-2) 一部変更承認(2016/10/5)

	承認日	申請者所属	申請者名 (敬称略)	申請課題名および発表学会等
90	2015/6/12	ドナー安全委員会	折原勝己	「非血縁者間末梢血幹細胞採取提供者の安全性に関する検証:通院可能距離条件撤廃に係る提供者の安全性に関する後方視野的データ解析について」 ※JMDPドナー安全委員会での検討目的
91	2015/7/2	国立がん研究センター中央病院 幹細胞移植科	黒澤彩子	「骨髄バンクコーディネートにおける患者・ドナー側からみた実情の把握を目的とした研究」 難治性疾患等政策研究事業 平成28年度免疫アレルギー疾患等政策研究事業 (移植医療基盤整備研究分野)「骨髓バンクコーディネート期間の短縮とドナーブールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」(福田班) 学会発表:第41回日本造血細胞移植学会総会(2019年3月)大阪 一部変更承認(2017/9/27, 2018/5/11)
92	2015/7/8	医療委員会	宮本敏浩	「JMDPを介した非血縁者間ドナーリンパ球輸注の治療成績(2014年度解説)」 論文業績: Biol Blood Marrow Transplant. 2017;23(6):938-44.
93	2015/9/9	京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学	小川誠司	「日本人における遺伝子多型がMDSの発症や病型、造血幹細胞移植の転機に与える影響の検討」 学会発表 第77回日本癌学会学術集会(2018年9月)大阪 60th ASH Annual Meeting and Exposition(2018/12/1-4) San Diego
94	2015/12/28	北海道大学病院血液内科	小野澤真弘	「造血細胞移植における造血ランドスケープの経時的变化に関する探索的研究」 ※発表予定なし
95	2016/2/10	安城厚生病院	澤 正史	「明るいプロコンで考えるこれからのオルタナ移植」 学会発表:第38回日本造血細胞移植学会総会(2016年3月)名古屋
96	2016/5/23	広島赤十字・原爆病院	岩戸康治	「中四国地区における骨髓バンクドナーコーディネート状況の解析」 ※平成28年度第1回造血幹細胞移植推進拠点病院四国ブロックセミナー(2016年6月)
97	2016/5/25	千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部	酒井紫緒	「造血幹細胞移植におけるサンクスレターに関する解析」 一部変更承認(2017/6/26, 2017/12/15)
98	2016/5/25	千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部	酒井紫緒	「造血幹細胞移植におけるサンクスレターに関する単施設解析」 学会発表:第39回日本造血細胞移植学会総会(2017年3月)島根 論文業績:臨床雑誌「内科」 Vol.123 No.1(2019) 149~154
99	2016/7/4	安城更生病院 血液・腫瘍内科	澤 正史	「骨髓バンクドナーコーディネートにおける院内HCTCとバンクコーディネータの連携」 学会発表:第39回日本造血細胞移植学会総会(2017年3月)島根
100	2016/10/4	防衛医科大学校血液内科	木村文彦	「非血縁者間同種骨髓採取における採取有核細胞数の予測」 学会発表:第41回日本造血細胞移植学会総会(2019年3月)大阪 一部変更承認(2017/1/19)
101	2017/1/25	愛媛県立中央病院	中瀬浩一	「海外ドナーからの造血細胞移植症例のコーディネートの特徴について」 学会発表:第39回日本造血細胞移植学会総会(2018年2月)札幌 一部変更承認(2017/11/2)
102	2017/1/30	京都大学医学部 血液・腫瘍内科	諫田淳也	「骨髓バンクおよび臍帯血バンクのドナーブールサイズの最適化に関する検討」
103	2017/2/16	倉敷中央病院 血液内科	上田恭典	「HCTCの存在がもたらす、骨髓バンクにおける、患者コーディネート期間、ドナーコーディネート期間への効果」 ※診療報酬改訂に際して、JSHCTよりHCTC加算を要望する際の資料に使用
104	2017/5/30	名古屋第一赤十字病院小児科	加藤剛二	「非血縁者間同種骨髓移植における骨髓液中ヘパリン濃度の検討」 ※JMDP医療委員会での検討目的
105	2017/7/6	静岡県立静岡がんセンター	永井有香	「骨髓バンクドナーのケア改善に向けた当院での取り組み」 学会発表:第39回日本造血細胞移植学会総会(2018年2月)札幌
106	2017/11/2	東海大学医学部	矢部普正	「移植実績が伴わない小児科施設を中心に、調整医師活動実績、採取実績によってLow volume centerとして承認するための基準作り」 ※JSHCT移植施設認定委員会での検討目的
107	2018/1/19	東京都立駒込病院輸血・細胞治療科	奥山美樹	「骨髓バンクを介した移植における骨髓液に含まれる抗凝固剤の現状」 学会発表:第66回日本輸血・細胞治療学会総会(2018年5月)栃木 ※JMDP医療委員会作成資料も提供(データ利用申請#104)
108	2018/7/5	自治医科大学附属病院 血液科	藤原慎一郎	「非血縁ドナーからの骨髓採取前の自己血貯血の検討」 学会発表 第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会(2019年5月)熊本 AABB Annual Meeting 2019(2019/10/19-22) San Antonio 論文業績: International Journal of Hematology (https://doi.org/10.1007/s12185-020-02851-8) 一部変更承認(2020/3/31)
109	2018/8/2	千葉大学医学部附属病院輸血・細胞療法部	三川紫緒	「造血幹細胞移植における手紙交換の実態調査」 学会発表:第43回日本造血細胞移植学会総会(2021年3月)東京(hybrid)
110	2018/11/1	大阪市立大学	日野雅之	「非血縁者末梢血幹細胞提供ドナーにおけるG-CSFの短期安全性の確認」 2019年度第1回造血細胞移植合同会議 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野)「非血縁者間末梢血幹細胞移植における末梢血幹細胞の効率的提供と至適な利用率増加に繋がる実践的支援体制の整備」(H29-難治等(免)-一般-101) 一部変更承認(2020/6/23)
111	2018/12/28	倉敷中央病院 血液内科	上田恭典	「非血縁ドナーからの末梢血幹細胞採取」 2018年度第2回造血細胞移植合同会議 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野)「非血縁者間末梢血幹細胞移植における末梢血幹細胞の効率的提供と至適な利用率増加に繋がる実践的支援体制の整備」(H29-難治等(免)-一般-101) 一部変更承認(2019/11/27, 2022/12/9)
112	2019/6/7	島根大学大学院医学系研究科博士前期課程 看護学専攻(地域・在宅看護学コース)	井上悦子	「日本骨髓バンクコーディネーターの職務におけるやりがいと困難」 学会発表:第42回日本造血細胞移植学会総会(2020年3月)東京
113	2019/6/11	広島赤十字・原爆病院小児科	藤田直人	「骨髓バンク最終同意面談担当の経験-100例の最終同意面談を担当して-」 学会発表:第42回日本造血細胞移植学会総会(2020年3月)東京 論文業績:日本造血細胞移植学会雑誌 10巻(2021)2号p.102-105
114	2019/7/3	愛媛県立中央病院	中瀬浩一	「日本骨髓バンクを介して日本国内のドナーから造血細胞移植を受けた海外症例の特徴について」
115	2019/7/23	名古屋第一赤十字病院小児科	坂口大俊	「小児急性白血病に対する非血縁者間骨髓移植におけるドナー自己血貯血の臨床的意義」 学会発表:第82回日本血液学会学術集会(2020年10月)京都

	承認日	申請者所属	申請者名 (敬称略)	申請課題名および発表学会等
116	2020/4/1	都立駒込病院	原口京子	「非血縁者間末梢血幹細胞移植における採取施設と移植施設のCD34測定値に関する実態調査」 学会発表: 第43回日本造血細胞移植学会総会(2021年3月)東京(hybrid) ※JMDPから日本日本輸血・細胞治療学会への依頼に基づく調査 論文業績: 日本輸血細胞治療学会誌 第70巻 第3号 2024年 一部変更承認(2020/10/13, 2021/7/14)
117	2020/11/19	公立大学法人 大阪市立大学 (JMDPドナー安全委員会)	日野雅之	「骨髄バンクにおいてボランティアドナー・ドナー家族への感染予防対策(不安軽減)のために導入されたコーディネートリモート化の体制整備による効果の検討」 令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)「新型コロナパンデミック下の造血幹細胞移植ドネーションを推進するためのシステム改革」分担研究
118	2020/12/18	北海道大学病院 血液内科	後藤秀樹	「新規コロナウイルス感染拡大下における健常人ボランティアドナー一致維持を目指した口腔内スワブ検体と血液検体のHLA検査精度の検証」 令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)「新型コロナパンデミック下の造血幹細胞移植ドネーションを推進するためのシステム改革」分担研究 一部変更承認(2021/3/19, 2021/7/9)
119	2021/1/12	自治医科大学内科学講座血液学部門 (JMDP医療委員会)	神田善伸	「COVID-19感染拡大下における非血縁者間造血幹細胞移植片の凍結保存について」 一部変更承認(2021/3/26) 論文業績: Transplantation and Cellular Therapy (https://doi.org/10.1016/j.jtct.2021.04.022)
120	2021/3/1	公立大学法人 大阪市立大学	日野雅之	「WEBを用いた採取可能日情報提供によるコーディネート期間の短縮および患者希望週での移植の実現」 厚生労働科学研究補助金(移植医療基盤整備研究事業)骨髄バンクドナーの環境整備とコーディネートプロセスの効率化による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究 一部変更承認(2021/4/26, 2021/10/21) 論文業績: 日本造血・免疫細胞療法学会雑誌11巻(2022)2号p.114-121
121	2021/3/1	国立がん研究センター中央病院	福田隆浩	「骨髄バンクコーディネート期間を短縮するには」 学会発表: 第43回日本造血細胞移植学会総会(2021年3月)東京(hybrid)
122	2021/5/25	大阪大学大学院経済学研究科	大竹文雄	「骨髄バンクドナー・コーディネート初期行程におけるコーディネート進行率増加を目指した介入研究」 厚生労働科学研究費補助金・移植医療基盤整備研究事業(22FF1002)「骨髄バンクドナーの提供体制強化と若年ドナーの確保・リテンションへ向けた適切な介入方法の確立のための研究」分担研究
123	2021/8/2	公益財団法人日本骨髄バンク 医療情報部	折原勝己	「非血縁者末梢血幹細胞提供ドナーにおけるG-CSFの短期安全性の確認」 厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業)適切な末梢血幹細胞採取法の確立及びその効率的な普及による非血縁者間末梢血幹細胞移植の適切な提供体制構築と、それに伴う移植成績向上に資する研究 学会発表: 第44回日本造血・免疫細胞療法学会総会(2022年5月)横浜 一部変更承認(2021/8/17)
124	2021/8/2	公益財団法人日本骨髄バンク 医療情報部	折原勝己	「非血縁者ドナーにおける造血幹細胞提供年齢に関する研究」 厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業)骨髄バンクドナーの環境整備とコーディネートプロセスの効率化による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究
125	2021/10/19	公益大学法人大阪 大阪市立大学 (JMDPドナー安全委員会副委員長)	日野雅之	「安全情報データベースおよびドナー適格性判定基準検索システムの利用状況についての実態調査」 令和3年度厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業) 適切な末梢血幹細胞採取法の確立及びその効率的な普及による非血縁者間末梢血幹細胞移植の適切な提供体制構築と、それに伴う移植成績向上に資する研究
126	2022/1/7	自治医科大学内科学講座血液学部門 (JMDP医療委員会)	神田善伸	「COVID-19感染拡大下における非血縁者間造血幹細胞移植片の凍結保存について(症例追加)」 論文業績: Transplantation and Cellular Therapy (https://doi.org/10.1016/j.jtct.2022.06.022)
127	2022/1/13	日本赤十字社 東京都赤十字血液センター 医務課	難波寛子	「(予定)非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設におけるアフェレーシスナースの充足度とニーズに関する全国調査結果」 令和3年度厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業) 適切な末梢血幹細胞採取法の確立及びその効率的な普及による非血縁者間末梢血幹細胞移植の適切な提供体制構築と、それに伴う移植成績向上に資する研究(班長: 大阪市立大学 日野雅之教授) 論文業績: Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy, Vol. 69. No. 3 69 (3): 464-469, 2023
128	2022/4/25	大阪公立大学	日野雅之	「造血幹細胞移植推進拠点病院を中心としたバンクコーディネート期間短縮への取り組み」 厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業)骨髄バンクドナーの環境整備とコーディネートプロセスの効率化による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究 学会発表: 第44回日本造血・免疫細胞療法学会総会(2022年5月)横浜
129	2023/1/6	伊那中央病院 腫瘍内科	黒澤彩子	「骨髄バンクコーディネートにおける家族同意とドナーのモチベーション保持の関連要因の探索を目的としたインタビュー調査」 令和4年度厚生労働科学研究費福田班「骨髄バンクドナーの提供体制強化と若年ドナーの確保・リテンションへ向けた適切な介入方法の確立のための研究」(22FF1002、研究班代表者: 福田隆浩 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科)
130	2023/1/18	東海大学医学部	椎名 隆	「日本骨髄バンクを介する非血縁者間造血幹細胞移植におけるNGS-HLAタイピング法の有用性評価」 ※JDCHOTならびに日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植登録一元管理委員会の下に設置「HLAワーキンググループ(WG)」との共同研究として実施
131	2023/7/24	大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科	一井倫子	「血液疾患患者の免疫プロファイル解析」
132	2023/7/28	公益財団法人日本骨髄バンク	小川みどり	スワップを用いたHLA検査法の比較検証[トライアル1]
133	2023/9/20	公益財団法人日本骨髄バンク	小川みどり	スワップを用いたHLA検査法の比較検証_validation
134	2023/10/11	東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科	石井敬人	AIを用いたドナー・採取施設特性解析に基づく、骨髄バンクドナーのコーディネート期間短縮に資する研究 令和5年度厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業)・厚生労働省 効率的でドナーの負担軽減に資する末梢血幹細胞採取法の確立と非血縁者間末梢血幹細胞移植の治療成績向上のための研究 (23FF0201)
135	2023/10/31	北海道大学病院 検査・輸血部	後藤秀樹	「スワップを用いたHLA検査法の検証(#47の変更申請)」 令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)「骨髄バンクドナーWeb登録システム導入に向けたcapture NGS法によるHLAスワップ検査精度の検証と諸外国での運用状況の調査に関する研究」分担研究
136	2023/12/22	公益財団法人日本骨髓バンク	小川みどり	スワップを用いたHLA検査法の比較検証[トライアル2] 一部変更承認(2024/5/2, 2024/7/17)
137	2024/1/5	名古屋大学医学部附属病院・先端医療開発部	西脇聰史	「ドナーリスク因子を取り入れた同種造血幹細胞移植の最適化」

	承認日	申請者所属	申請者名 (敬称略)	申請課題名および発表学会等
138	2024/9/11	伊那中央病院 腫瘍内科	黒澤 彩子	「骨髓バンクコーディネートにおける家族同意とドナーのモチベーション保持の関連要因の探索を目的としたアンケート調査」令和4年度厚生労働科学研究費福田班「骨髓バンクドナーの提供体制強化と若年ドナーの確保・リテンションへ向けた適切な介入方法の確立のための研究」(22FF1002、研究班代表者:福田隆浩 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科)
139	2024/11/5	信州大学医学部附属病院 輸血部	井原 裕樹	「骨髓濃縮における濃縮効率の調査および骨髓濃縮に関与する因子の探索」
140	2024/12/16	日本赤十字社 血液事業本部 技術部 造血幹細胞事業管理課	土居 慧郎	「骨髓ドナー登録者のコーディネート率と登録取消率の年代・登録時期分析」

学会発表・論文業績については、2013年度以降を掲載